

アラウンド40世代だからこそその“活動”が見えてきた

つかみたい! 「婚活」の先の幸せ

マリソル3月号の特集「今こそ『婚活』の季節!」の予想を上回る大反響に応え、アラフォーの婚活をさらに追求。婚活を、単なる活動に終わらせずゴール=結婚につなげるためには今、何が必要なのか、何をすべきかを探った。

撮影/宅間國博(P.174~175) 宮島折恵(P.172~173) 那由太(物) 取材・文/宮内千和子(P.174~175) 鈴木裕子(P.171~173)
協力/オーネット JLCA STORY プロップス ナウ

ますます盛り上がる
婚活 *News*

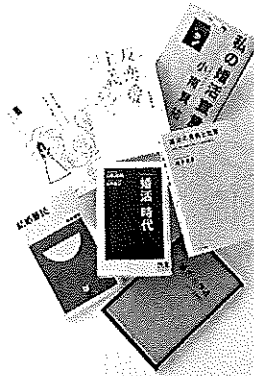
news 3

少子化対策には まず婚活? NPO法人 JLCA立ち上がる



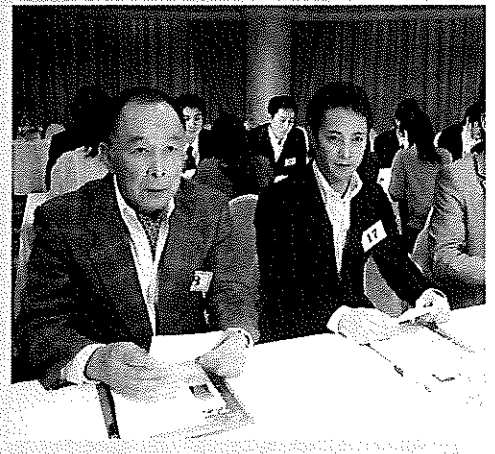
理事長の原口博光氏は元経済産業省の官僚で未婚・晩婚・少子化対策を担当。「マル適マークCMS」発行のほか、婚活だけでなくライフデザインまで考えられる専門家の育成も。近日中に「婚活検定」(結婚力検定)も実施予定。JLCAホームページ <http://www.counselors.jp>

news 2



news 1

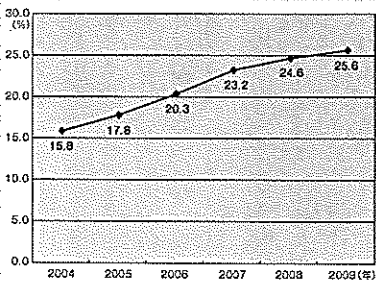
男性の 婚活ブーム!?



この春、婚活を初めて男性の立場から描いたドラマ「婚カツ!」(フジテレビ系)がスタート。また、婚活対策として男性向けのプライベートレッスンや、メンズエステ、アンチエイジング化粧品なども続々登場

news 4

結婚相談所アラフォー 加入者数増加



数ある婚活サポート機関のうち、アラフォー女性にはカウンセリングなどサポートの厚い結婚情報サービス会社の需要が高い。「オーネット」でもアラフォー女性会員数は確実に増え、問い合わせもこの1年で1%増えたそう(グラフオーネット アラフォー(35~44歳)女性会員の占める割合)

「婚活」本も加熱

昨年の「婚活」時代刊行以来、本のタイトルや帯に「婚活」の二文字が躍る本が続々と刊行。最近では心理学者や精神科医、花婿学校講師などによる婚活ノウハウ本や婚活の実体験をつづった本など、より具体的に現実的な本が増えてきた

婚活をより強くサポートして
くれる体制が整いはじめた

「婚活」という言葉も世の中にすっかり定着。おかげで、結婚を目的に活動することへの抵抗感もだいぶ薄くなって、「私は結婚したい!」と、周囲に堂々という人たちも増えてきた。でも、いざ婚活を始めてみると、事はそう簡単には進まない様子。例えば、巷に結婚情報サービスはたくさんあるものの、それが結婚へと結びつく確率はまだまだ高くない。実際、婚活中の人たちからは、「いつまで婚活を続けたいの? 先が見えなくて不安」という声もちらほら……。

ただ、状況は確実に変わっている。これまで、どちらかというと女性がリードしてきた婚活に男性もようやく参戦。「花婿学校」だけでなく、例えば「結婚トレンド研究所」では男性向けのプライベートレッスンを開始したところ、予想以上に盛況だそう。「婚カツ!」のように男性の婚活を描くドラマも登場したことで、男性も動きやすくなったのかもしれない。

また、きめ細かなサポートが受けられる仲人仲介型の結婚相談所や、イベント感覚で参加できる「料理合コン」や「ゴルフ合コン」などさまざまなサービスが登場して、婚活の幅も広がっている。その中から自分の好きなものを選べば、より確率は高い。

「結婚相談所も玉石混濁では? どこを選べばいいの?」という悩みにも、明るい兆し。NPO法人「日本ライフデザインカウンセラー協会(JLCA)」が、経済産業省が定めるガイドラインに基づいて、結婚相談所を審査開始。すでに合格した結婚相談所には「マル適マークCMS」があるので要チェック。安心で、しかも効率よく婚活が進められるような体制が整ってきている。あとは……あなただのやる気次第!?